

福祉は 自分のアイデアを 形にするしごと



●アパレル業界から未経験の福祉業界に転職
最初は婦人服のバイヤー、次に百貨店での販売員をしました。しかし、どちらも自分のアイデアが尊重されず会社の駒になっている感覚がありました。20代も後半にさしかかり、自己表現の手段は服以外にもあるのではと考えようになりました。ちょうどそのころに祖母が特別養護老人ホームに入所し、介護職員の仕事ぶりを見てこれまでの仕事にないものを感じ、福祉の世界に興味を持ったのが、この業界への転職を決意したきっかけです。何か新しいことを始

めるときは、いつも知らないことから始まるので、福祉業界の経験がないことは気になりました。

●大きな企画を任されて個性を発揮

利用者さんには笑顔で楽しく過ごしてもらいたいので、毎日必ず利用者さん全員と話すことにしています。その時間で、利用者さんの体調のどんな小さな変化も見逃さないように気をつけています。また、利用者さん一人ひとりと向き合う仕事だけでなく、施設内のカラオケやクイズ、外出などのレクリエーション企画の仕事

もあります。昨年、法人をあげて開催する夏祭りの企画を任せられました。施設でつくったものを販売するバザー、遊んだり食べ物が買えたりする屋台など自分たちのアイデアを形にした出し物を用意し、地域の子どもや大人に来て楽しんでもらえる大きな祭りとなり、やりがいがありました。前職での集客イベント企画の経験も生かせたと思っています。これからは他のデイサービスではやったことがない企画を立ててみたいですね。そして福祉業界をもっと明るいイメージのものにしていきたいですね。

ワタシの成長のキッカケ

ピザを食べたがっていた利用者さんとフードコートと一緒に行ったことがあります。とても喜んでくれましたが、その人は数日後に亡くなりました。利用者さんにとっての時間の重みを実感し、時間や人生についての考え方か変わりました。



人生観が
変わること

ワタシのプライベート

アイサービスなので夜勤ではなく、基本的に週休2日です。ダイビングやサーフィンなどのマリンスポーツが好きなので、オフの日には丹後や三重の海に行っています。子育てや家事も妻と協力してやっています。



趣味や家族と
過ごす時間も
大切に



お茶出しを
きっかけに
体調を確認



スタッフみんな
で利用者さん
のことを考えます